

農山漁村振興交付金 (情報通信環境整備対策) 計画策定活動

令和5年度中間報告会資料

令和5年度活動内容

①各社実施事業の村内関係者との調整 ・ 整備計画案作成

活動報告： 活性化協議会事務局と連携して各社業務実施のための契約内容調整、村内調整、本報告会調整等を実施

今後の予定：引き続き、各社と村内関係者をつなぐ役割を果たすとともに、整備計画（案）の策定に向け、ニーズ調査の活動の幅を広げる。

②地元住民へのデモ会実施 ・ ヒアリング

活動報告： 8月24日に事業内容及びシェアリングアプリ説明会および意見交換会を実施。また子ども向けイベントの調整を実施する。

今後の予定：引き続き、地元住民が本事業で実施する内容を理解した上で、ニーズ調査に賛同していただけるよう、デモ会やヒアリングを実施する。

③地元住民などへの周知用メディア作成 ・ ホームページコンテンツ

活動報告： 8月1日に村内全戸にチラシを配布。

今後の予定：協議会ホームページに本事業内容を追加する。

④地元放送事業者を活用した事業内容および整備計画周知に伴う企画

活動報告： 5月24日、8月3日 地元テレビ局との打ち合わせ。
6月19日、6月27日、8月3日 地元マスコミへの取材依頼作成 等

⑤地元放送事業者を活用した事業内容および整備計画周知に伴う実証

活動報告： 7月11日、8月3日、4日、8月27日 情報通信を活用した教育の撮影対応 等
8月10日 高知新聞に記事掲載
9月号 北川村広報に掲載

※12月、3月にテレビ高知で本事業内容を分かりやすく説明する特番放送予定

今後の予定：引き続き地元放送事業者等に本事業内容を分かりやすく周知していただけるよう働きかける。

高知新聞：8月10掲載

2023.08.10 08:20

最新技術で高知・北川村を活性化 村の小中生がAI・ドローン学ぶ



SHARE 

人工知能（AI）やドローンを活用して北川村を活性化させようと、村内の小中学生12人が専門家らの手ほどきを受け、動画制作などに挑戦する教室がこのほど開かれた。

スマート農業の導入を進める村で、将来を担う世代に最新技術に触れてもらおうと、住民らでつくる村地域活性化協議会が企画。児童らは3、4日、村民会館に集まり、グループに分かれて「村の魅力再発見」をテーマに取り組んだ。



AIについて学んだことを発表する子どもたち（北川村野友甲の村民会館）

教科横断的に課題解決を図る教育を支援する都内の会社や四国大学（徳島）の学生らがサポート。AI班は、AIの特徴を習い、村の観光大使となるキャラクターを制作。映像班はドローンの操縦を体験した後、中岡慎太郎館やモネの庭マルモッタンなどを訪問し、スタッフらが撮影した動画を使って効果的な編集手法を学んだ。

2日目は住民らの前で成果を発表。AI班は「AIは間違っただけでも正しいことのように教える。本当に合っているか自分で確認しないとイケない」と注意を促した。北川小学校5年の高松芹菜さん（10）は「AIは便利だけど、特徴を理解した上で使えるようになりたい」と話していた。

動画などは村ホームページで今秋以降に公開予定。（深田恵衣）

広報きたがわ：9月号掲載

小学4年生×日本の農村を元気にする会 総合的な学習

小学4年生が7月12日（水）の5、6時間目に土佐北川農園（西谷）にて、総合的な学習を行いました。今年度は総合的な学習で『北川村のゆずのひみつを見つけよう』をテーマにしており、「1年間ゆずの成長を見ながら、ゆずの世話や手入れの仕方を見て聞いて体験して、ゆずを育てている人の想いを知り、ゆずに関わる人の想いを考えていきたい。そして自分たちの知ったことをまとめて「ひみつ」として紹介したい。」という想いで活動しています。今回の授業では、日本の農村を元気にする会（以下、元気会）が実施しているスマート農業「ドローンによる農薬散布」を見学しました。

児童はゆずの実や葉の成長の様子を観察した後、元気会の夏目航平さんによるドローンの説明を熱心に聞き、「この農園を全部消毒するには何時間かかるの?」「操作は難しいの?」などと気になったことを質問していました。また、実際に飛行している様子を記録に残したり、バッテリーの重さを体感したり、貴重な時間となりました。

